

■日 時 2025 年 2 月 3 日（月）13:30～15:10

■場 所 コンシェルジュフラノ 2 階 大ホール

■出席者 15 人

- ・委員 軽米達也、佐藤健治、大玉英史、結城研二、鷺田宏治、荏原悦子、永吉大介、山崎時枝、福井早苗 ※欠席者：吉田幸生、奈良定雄
- ・事務局 市長北猛俊、経済部長本田寛康、商工観光課長石出訓義、商工観光課主幹上堀義文、商工労働係増田大五郎、商工労働係浦祐太

■傍聴人 0 人

■顛 末

## 1. 開会

- ・事務局より、委員 11 人中 9 名の出席により富良野市中小企業振興条例施行規則第 17 条の規定に基づき会議成立していることを報告。

## 2. 辞令交付

- ・北市長より辞令交付。
- ・鷺田委員→永吉委員の順に辞令交付を行う。

## 3. 市長挨拶

- ・中小企業の皆さんにおかれては、企業の振興、発展はもとより、富良野市の経済と生活を支えていただいていることに御礼申し上げます。
- ・中小企業の取り巻く環境は厳しい状況がある。
- ・資金調達の支援、技術革新、デジタル化によって、作業、仕事、の負担削減も必要と考え、こういった取り組みから人材育成にもつながっていくのではないかと。
- ・観光との連携も企業にとって大事なものとなる。
- ・皆様のご意見によって、富良野市の中小企業の発展を期待したい。

## 4. 会長選出

- ・委員からの推薦等がなかったことから、事務局案として、昨年度に引き続き軽米委員を提案。
- ・全会一致で承認。

## 5. 報告

- ・事務局より、令和 6 年度の人材確保に係る各事業の実施状況（別紙）について報告。
- ・以下、報告に対する質疑。

|      |                                                                        |
|------|------------------------------------------------------------------------|
| 軽米会長 | Q.市の実績は想定内か。<br>A.想定内外どちらもある。人材開発支援事業が低迷。新規移住はかなり申請が多い。                |
| 永吉委員 | Q.新規移住支援金の予算措置は？<br>A.今年度分については、補正予算で対応している。来年度は当初予算の額を上積みして予算要求をしている。 |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 鷲田委員 | <p>Q.意見として、空き店舗、空き家バンクのような情報発信を強化してはどうか。</p> <p>具体的に出店する際には、現状よりもワンステップ工夫したサポートも必要ではないか。</p> <p>事業拡大補助金についても、何をどうすればいいのかというサポート窓口があればいいのでは。金融機関でもサポート、連携できると考える。</p> <p>A.空き物件については、リビングフラノや、道のサイトに掲載しているが、市の方で情報をつかみ切れていない現状。情報収集には商工会議所や商工会とも連携できれば。</p> |
| 軽米会長 | <p>Q.事業があまり知れ渡っていないのでは？事業名称が「お役所的」で難しいと感じている。</p> <p>A.その件で1点提案させてもらう。</p> <p>Q.事前の事業計画ありきで活用可能な補助があるのか相談にくるのか、最初から特定の補助金の活用について相談に来るのか、どちらが多いのか。</p> <p>A.両方のパターンで相談が来る。</p>                                                                              |

## 6. 議事

事務局より各種改正内容（別紙）を説明した後、審議。

### （1）新規創業応援事業の要件整理

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 結城委員 | <p>Q.山部地区で開業した人は最高 200 万円となる。富良野市の集積地でないからと捉えるが、緩和を検討していただけないか。</p> <p>A.要件緩和は検討とさせてほしい。市としては、中心市街地（へそ歓楽街や商店街等）への集積を目的としており、その目的のための加算としているため、山部地区も増額する場合は、目的の整理から必要となる。</p>                                                                                    |
| 福井委員 | <p>（意見）</p> <p>使う立場から言えば使い勝手が良いと考えている。他の市町村と比べると富良野市は厚い支援策を持っていると思う。</p>                                                                                                                                                                                        |
| 鷲田委員 | <p>Q.・飲食関連の相談を受けると、インバウンド向けが多く、市民向けが少ないと感じている。職員や自身の経験から、市民が気軽に利用できる飲食店が欲しい。</p> <p>・新規創業に際して、市民の声を反映した企画を進め、新規創業の参考にすることが望ましい。</p> <p>・地元客が通年で利用する店を増やし、積極的に応援することが重要。例えば、オフシーズンに市民飲食割引などをするのはどうか。</p> <p>A.まずは、以前実施した労働実態調査の中ででてきた市民意見を可能な限りホームページで公表したい。</p> |
| 永吉委員 | <p>A.異なる事業というのは会社の定款に謳っていないものを新たに追加するというものか。</p> <p>Q.定款の確認までは実施していない。事業計画等を踏まえて判断している。</p>                                                                                                                                                                     |
| 山崎委員 | <p>A.末広町、弥生町には高齢者が集まれる場所がない。自身の店舗に要請がきてそういった場所を作ろうと考えている。そういった場合の経費は対象になるのか。</p> <p>Q.個別にご相談をお願いします。</p>                                                                                                                                                        |

その他事務局より、委員への質問

A.制度について、どの媒体で確認しているのか。本年度広報を強化したが、認知度は思ったほど上がらなかった。

Q.（佐藤委員）会議所の文書で確認をする。他でいえば正直ない。富良野市のホームページが見づらく、よくわからないためその改善も手では？

(2) 事業拡大支援事業の申請可能回数の見直し

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 結城委員 | <p>Q.再申請は2回までなのか。一度申請し、3年経過すればもう一回と、何回も使えるものなのか。</p> <p>A. 後者を想定。ただ必ず拡大していることが分かるように売上高を要件として用いたい。</p> <p>Q.売上5%の根拠は。</p> <p>A. 国、道の事業の要件で生産性や売上要件について3～5%となっているので参考にした。</p> <p>Q. 売上は変動あると思うが、条件は付けないといけないのか。</p> <p>A. 予算の限度があるため、何らかの要件は必要。事業の発展や継続を支援する目的がある中で、事業規模が沈んでいる企業に投入することはどうかと考えている。1回しかできないことを2回にするので、一定程度要件が必要と考えている。</p> |
| 大玉委員 | <p>Q.1回目の申請後に経営が思うように伸びない場合も想定される。そういった事業者こそ支援が必要ではないか。3年経過して新たに行った部分については売上要件を削除してもいいのではと考える。</p> <p>A. 検討させてほしい。売上要件を必要としない小規模事業者補助や事業再構築補助などがあり、そこで拾えないものを拾おうというところからのスタートでもある。国や道の制度を検討していく中で、事業拡大支援事業を利用してもらえれば。</p>                                                                                                                |

(3) 職場環境等整備支援事業の見直し

|      |                                                                                                                                                                                                                                             |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 佐藤委員 | <p>Q.補助上限額を30万円とした理由は。補助率1/2以内、限度額50万円でもよいのでは。</p> <p>A. 以前の定額制の平均が一つ。他の補助金もほぼ30万円としているため一律に設定をした。</p>                                                                                                                                      |
| 軽米会長 | 事業名が分かりづらい。                                                                                                                                                                                                                                 |
| 大玉委員 | 建築費が高騰しているなかでは、限度額を50万円まで引き上げてもらえるとありがたい。                                                                                                                                                                                                   |
| 佐藤委員 | <p>Q.例えば設備、建設会社が自社で工事する場合は、補助対象外か。</p> <p>A. 事務的な話になるが、実績報告の際に支払いが確認できる書類がないと難しい。自社での処理となると請求、領収が難しいと感じている。</p> <p>Q.見積は確認されていると思うが、人件費を抜いたとして、材料費だけでもという考えがあってもいいのでは、自社物件を改修するのに外注を行うのか。自社物件の場合という原型を作ってもらった方がいいと考えている。</p> <p>A.検討する。</p> |
| 荏原委員 | <p>Q.借家のオーナーが発注する工事は対象となるか。</p> <p>A.対象外。それを可にすると貸していない(事業をしていない)物件も対象になってしまうため。</p>                                                                                                                                                        |

#### (4) 人材開発支援事業の見直し

|              |                                                                                                                                                                 |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 永吉委員         | Q.自動車学校に通う費用も対象か。<br>A.検定手数料（試験料）以外の講習部分を対象としている。試験の費用は手数料として、国等の制度でも対象外としている。同様にこの事業でも除外している。試験料をみないのは、可否を問わず補助するため。会社が資格取得させるための過程を支援している。                    |
| 佐藤委員         | Q.労働安全衛生法に基づく免許取得等の技能講習、特別教育等とあるが、これらは受講料と講習料と別れていない。最後に検定試験があるが、この部分はどうなのか。<br>A. 実績では認めている。見積上は検定の受講となっているので、受講料としてみなしている。                                    |
| 結城委員<br>福井委員 | Q.従業員の取り扱いとして役員は対象外か。<br>役員ではあるが、従業員のような人も多くいる。<br>A. 申請にあたって雇用契約書を提出をしてもらう必要があり、そこで判断させてもらう。従業員のキャリアアップを目的としているので、経営者はいったん除外。役員の取り決めについては整理されていないのでご意見をいただきたい。 |
| 結城委員         | 役員であっても従業員扱いであれば雇用保険をかけることができる。<br>雇用保険をかけているという要件でもいいのではないか。                                                                                                   |
| 大玉委員         | 事業名称がわかりづらい。資格取得支援といった名前でもいいのでは。                                                                                                                                |
| 結城委員         | Q.個人事業主の家族従業員の取り扱い方について、その従業員については対象外か。<br>A. 事業主と生計を同一とする親族と二親等以内の親族でない人を対象にしている。                                                                              |
| 山崎委員         | Q. 食料品の販売や酒類販売等で色々な免許が必要。そういった関係については対象なのか。<br>A. 事業承継支援事業は今回審議会に諮る内容とは異なるため、今後ご意見をいただきたい。この件は別に整理させてほしい。                                                       |

#### (5) その他

|      |                                                                           |
|------|---------------------------------------------------------------------------|
| 福井委員 | ホームページが検索しづらい。改善が必要ではないか。広報等は、知っている、利用している事業者は目につくが、普段気にしていないひとは見ないと感じる。  |
| 鷲田委員 | ホームページの構成の問題かと感じる。富良野市のトップページから、中小企業応援や移住定住といったように構成すればいいのでは。             |
| 鷲田委員 | 富良野市は市内の不動産業者との連携できる丁度良い規模感の街だと思う。情報共有できるプラットフォームができれば富良野市にとってもプラスとなるのでは。 |

### 7. その他

今後のスケジュールを共有。2～3 月中に再度審議会でお諮りしたい。

### 8. 閉会